



タップ・ステップ・ジャズ!

当財団の新しい事業として「タップ・ステップ・ジャズ！」と題した出前音楽会を6月2日、大野市下庄小学校で開催。

1年生から3年生の児童と保護者ら合わせて約200人が、音楽鑑賞やダンス体験などで楽しい時間を過ごしました。

公演は「タップ&JAZZ さわやか」（協力・勝山ブンゲー友の会）。メンバーは浦上雄次さん（タップダンサー）、斉藤チエミさん（歌と司会）、佐澤尚友さん（ピアノ）、森岡喜彦さん（ベース）、石田和裕さん（ドラム）、友吉俊郎さん（サックス・フルート）の6人。

ステージはスタンダードナンバーとして知られる「モーニン」で開幕し、メンバーらは息の合った演奏で躍動的なリズムを刻み、児童たちは体を揺らしながらジャズを体感！

2曲目の「A列車で行こう」では、斉藤さんが伸びのある艶やかな歌声で聴衆を魅了しました。続いて登場した浦上さんは、軽やかで巧みなステップでタップダンスを披露して大喝采！

同校の校歌をジャズ風にアレンジした演奏が披露されたほか、楽器の紹介や英語でのやり取り、学校キャラクターの登壇などで盛り上がりました。



タップダンサーの浦上雄次さん



音楽に合わせて踊る児童たち



ボーカルの斉藤チエミさん

フィナーレは、出演者と聴衆の掛け合い（コールアンドレスポンス）を取り入れた演出で、児童たちは斉藤さんの呼び掛けに「イエーイ」と応じながら体を動かして躍動しました。終了後、児童や保護者らは「校歌が楽しかった」「ドラムが大きくて格好良かった」「タップダンスを初めて間近に見て面白かった」などと感想を述べました。出演者たちも「子供たちが元気に踊ってくれた」「児童の反応がとても良いので、こちらも楽しかった」などと話していました。



ベースの森岡喜彦さん



サックスの友吉俊郎さん

ピアノの佐澤尚友さん



ドラムの石田和裕さん

